

Topics

日暮里道灌まつりが 開催されました

室町時代に江戸城を築城した武将として知られ、荒川区にもゆかりのある「太田道灌」のイベント、「日暮里道灌まつり」が、11月11日、日暮里駅前イベント広場で開催されました。

当日は、太田道灌ゆかりの自治体・店舗などが集まり、特産品の販売や観光PRのほか、伊勢原手作り甲冑隊や紙芝居屋の三橋とらさんなどによるステージイベント、手作り甲冑の着付け体験が行われました。

また、あらかわの伝統野菜「三河島菜」を栽培している都立農産高等学校による三河島菜などの販売も行われました。



▲三橋とらさんによる紙芝居

荒川リバーサイドマラソンが 開催されました

11月19日、「第30回荒川リバーサイドマラソン」が、荒川河川敷右岸の荒川区営少年運動場を主会場として開催されました。

当日は雲一つない秋晴れの下、小学生1年生から80代の方まで1100人以上のランナーが、2キロふれあいの部のほか、2・3・5・10キロのコースを走りました。

小・中学生も多く参加し、沿道からたくさんの応援を受けながら、完走を目指して駆け抜けました。



▲元気いっぱい走りました！



▲小学校女子高学年の部(3キロ)表彰式

中学生の部

小学生の部

初物に笑顔がたえぬスイカ割り

逆転の一打延びゆく秋の雲

ぼくの背よひまわりみたく高くなれ

スキップをまつりばやしにあわせけり

第四中学校

2年

成田はな

第一中学校

3年

館知来

原中学校

3年

日野倫太郎

第四中学校

1年

濱田侑依

扇風機声を出したらロボットだ

さくらんぼまつ赤に実のるふたごたち

なつやすみどきどきしたよきもだめし

セミしぐれ打てよ走れと応援歌

第九峡田小学校

4年

秋元貴文

第五峡田小学校

1年

田中美弥乃

第四峡田小学校

6年

鈴木幸絆

第六日暮里小学校

6年

猪鼻孝太郎

令和5年度荒川区文化祭

小学生の部・中学生の部の俳句入賞作品

荒川区は俳句のまちだよ

11月3日～5日に、令和5年度荒川区文化祭・俳句展示会(会場・町屋文化センター)が開催されました。

その中から、小学生の部と中学生の部の入賞者と作品を紹介します。(敬称略)

あらかわ

今昔ものがたり

【あらかわの歴史と伝説】

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

野執筆 野尻さん

その148 あらかわの民謡①餅つき歌

～上野のお山でお餅つき～

今年も年末が近づいてきたね。年越しというとお正月のお節料理、鏡餅やお雑煮のお餅の準備があるよね。何々、ネット販売で予約したから大丈夫だって？ 今は通販やスーパーマーケットなどを利用する家が多いよね。昔は、お家でお節料理を作り、お餅もついたんだよ。お餅つきは年末の風物詩。今回は、江戸時代のお餅つきにまつわるお話だよ。

お殿様は寛永寺～東叡山領の村～ 江戸時代のあらかわは、日光道中(今のコッ通り)や下谷通り(今の国道4号)沿い以外は、農村だった。そして、村々のほとんどが上野の東叡山寛永寺の領地だったんだ。寛永寺は、江戸城の鎮護のため、比叡山延暦寺(滋賀県)に似せて建てられたとくがわしうぐん。徳川將軍家ゆかりの寺で、寛永寺のご住職があらかわの村人にとってのお殿様だったんだよ。当時の人々は、寛永寺を尊敬し、その領地であることを誇りに思っていたようなんだ。

上野のお山でお餅つき 毎年、暮れになると、日暮里・尾久・三河島・町屋の村人が寛永寺で

お餅つきをする習わしになっていたんだって。お餅は、江戸幕府初代將軍の徳川家康さんをお祀りする神社、上野の東照宮にお供えたんだよ。『新修荒川区史』によると、つき方には村によって違いがあり、町屋は右、尾久は左回りに回りながらついたそう。村人たちは、名誉なことだと思い、こんな歌を歌いながらお餅をついたんだ。餅つきの作業のコネ・ツキ・ネリの三通りに歌い分けたそうだよ。

へ祝いめでたの若松様よ 枝も栄えて葉も茂る へめでためでたが三ツ重なれば 庭に鶴亀五葉の松

へこれの館はめでたい館 鶴と亀とが舞い遊ぶ へ門に門松内や姫飾り 神をいさめて年をとる へ瀬田のから橋から金ぎぼし 水に映るは ぜ々の城

結びは家康さんが関ヶ原の戦い後に比叡山の麓に建てさせた名城・膳所城(滋賀県)を称えた歌。寛永寺に護られた江戸城になぞらえたのかもね。メロディは分からなくなってしまったけど、あらかわの民謡として伝えていきたいね。

「江戸名所道戯尽」三十六浅草駒形堂(部分) (東京都立中央図書館所蔵)